



TITLE:

表紙・原稿作成要領・編集後記・
裏表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・原稿作成要領・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1999, 71(5):
921-922

ISSUE DATE:

1999-02-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/96556>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可
平成11年2月20日発行(毎月1回20日発行)
物性研究 第71巻 第5号

ISSN 0525-2997

vol.71 no.5

物性研究

1999 / 2

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し、討論しあい、また、研究に関連した情報を交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、特別寄稿、研究に関連した諸問題についての意見などです。
2. 本誌に投稿された論文については、原則として審査は行ないません。但し、編集委員会で本誌への掲載が不適当と判断された場合には、改訂を求めること、または掲載をお断りすることがあります。
3. 本誌の論文を欧文の論文中で引用される時には、Bussei Kenkyu (Kyoto) 69 (1997), 1. のように引用して下さい。

[原稿作成要領]

1. 原稿は、原則として日本語に限りします。
2. 投稿原稿は2部提出して下さい。但し、研究会報告は1部で結構です。
3. 別刷を希望の場合は、投稿の際に、50部以上10部単位で、注文部数・別刷送付先・請求先を明記の上、お申し込み下さい。別刷代金については、刊行会までお問い合わせ下さい。
4. ワープロ原稿を歓迎します。原則として写真製版でそのまま印刷されますので、以下の点に注意して原稿を作成して下さい。
 - 1) 用紙はA4を縦に使用。(印刷はB5になります。縮小率 約86%)
 - 2) マージンは、上下各約3 cm、左右各約2.5 cm。1ページに本文34行、1行に全角文字で42字程度にして下さい。
 - 3) 第1ページは、タイトルはセンタリング、所属・氏名は右寄せにして、本文との間に受理日を入れるので、余白を少しあけて下さい。
 - 4) 図や表は、本文中の該当箇所に貼り込み、図の下にキャプションを付けて下さい。
 - 5) 体裁については、上記は一応の目安ですので、多少の違いがあってもかまいません。
5. 手書き原稿の場合の原稿作成要領については、刊行会までお問い合わせ下さい。
6. 研究会報告の作成要領については、物性研究ホームページをご覧ください。か、刊行会までお問い合わせ下さい。

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町

京都大学 湯川記念館内

物性研究刊行会

Tel. (075)722-3540, 753-7051

Fax. (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

編集部より

1999 年度「物性研究」会費納入について

1999 年度の「物性研究」の発行は下記の通りです。

Vol. 72 No.1-6 (1999 年 4 月号～1999 年 9 月号)

Vol. 73 No.1-6 (1999 年 10 月号～2000 年 3 月号)

個人会員は、郵便振替による前納制となっておりますので、1999 年度購読希望者は、本号にとじ込みの郵便振替用紙で、年額 9,600 円をお振込下さい。発送の準備がありますので、振込は 1999 年 3 月末までにお願いします。

中止は巻の切れめしかできませんので、1998 年度 (Vol.71 No.6 まで) で中止を希望の方は、至急、ご連絡下さい。本人から中止の連絡のない場合は、自動的に継続されますのでご注意ください。

1998 年度の会費が未納の方は、早急にお振込くださいますようお願いいたします。

〒 606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学 湯川記念館内
物 性 研 究 刊 行 会

Tel. (075) 722-3540; 753-7051

Fax. (075) 722-6339

郵便振替口座 01010-6-5312

E-mail. busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

編集後記

物理学会誌1月号の冒頭の交流の欄に高安秀樹氏の「価格変動の統計物理学入門」という記事が掲載されている。高安氏は大学院学生の時代からフラクタルに詳しく物性研究にも高安氏の学位論文を掲載したことがある。好評であったと記憶している。10数年を経た今日、どのように彼の物理が進展したのか。期待してページをめくった。

まず、この内容は価格変動の統計学または統計数理であって物理学ではないということである。確かに一般の数学と同様に、統計的な法則は物理にも経済学にも存在し、統計学的に見れば共通の現象が存在し、物理学として発展させられてきた統計理論が経済学に適用できることもあろう。また、逆のこともあろう。しかし、共通の統計法則をもつからと言って、物理学と経済学の差がなくなるわけではない。それぞれに学問・科学として有機的に結合された学問体系と課題があるのである。

「経済現象が統計物理学の対象として大きな関心を集めるようになった」とのことであるが、あくまで経済学の中で個々の経済現象を評価すべきであり、物理学の対象とはなり得ない。高安氏の例でいうと価格変動や会社の規模は経済学としては何か意味があるかもしれないが、物理学としては意味がない。このように経済学全体から一部分を切り離し、物理と似た現象を発見したとしてもそれだけでは不十分で、経済学の体系の中に位置付け総合的に評価すべきである。

今日、マネーゲームとなっているのは経済の不健全な現象であり、世界の経済をそれから守り、いかに発展させるかは重要な経済学の課題であると思う。つまり、金融派生商品の価格変動の統計性を研究するよりもその起源を明らかにし、過剰な流動性を制御し根絶することが必要なのではないだろうか。マレーシアはマネーゲームから自国経済を守ろうとしているが、米国の投資引き上げの脅迫にあい苦闘している。このように、ドル危機に由来する国際流動資金は世界経済の不安定要因として拡大している。金融派生商品は通貨というものの本質に基づいて、現実の世界経済と政治のダイナミックスから評価すべきものであろう。

最近、市場経済競争に勝つことが善であり、敗北は悪であり、死んでも滅んでも仕方のないこととされる。内橋克人氏は「経済学は誰のためにあるのか」という本を編集し、競争よりも共生を原理として経済の再生と万人の幸せを主張している。昨年末、急逝された山口昌哉先生は Competition の意味の競争は生態系を破滅させ、種の滅亡に至るとして競争的環境を煽る大学審議会の答申を批判された。これほどまでに生産力の発展した「文明社会」で世界の人々が困窮と失業や生活の不安の中で暮らしている原因は何か。経済学はこれに無力なのか。われわれの物理学はどのように人々の幸せに貢献できるのか。山口先生は大学の使命は人類を救う世界の指導者を育てることであり、「志を高くもて」と述べられた。私にとっては、これが先生の遺言である。

則天去私（山田耕作）

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)
佐々木 豊 (京大・理・物理)
水口 毅 (京大・理・物理)
山田 耕作 (京大・理・物理)
吉村 一良 (京大・理・化学)
武末 真二 (京大・総合人間)
村瀬 雅俊 (京大・基研)
小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)
本堂 毅 (東北大・理・物理)
佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
初貝 安弘 (東大・工・物理工学)
堀田 貴嗣 (東大・物性研)
山田 鏑二 (信州大・理・物理)
平田 文男 (分子科学研)
大野 義章 (名大・理・物理)
池田 研介 (立命館大・理工・物理)
宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)
松井 淳 (九大・理・物理)
好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第71巻第5号 (平成11年2月号) 1999年2月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒606-8225	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

[物性研究]

編集長

関本 謙 (京大・基研)

編集委員

池田 隆介 (京大・理・物理)
 佐々木 豊 (京大・理・物理)
 水口 毅 (京大・理・物理)
 山田 耕作 (京大・理・物理)
 吉村 一良 (京大・理・化学)
 武末 真二 (京大・総合人間)
 村瀬 雅俊 (京大・基研)
 小嶋 泉 (京大・数研)

各地編集委員

津田 一郎 (北大・理・数学)
 本堂 毅 (東北大・理・物理)
 佐々 真一 (東大・教養・基礎科第一)
 初貝 安弘 (東大・工・物理工学)
 堀田 貴嗣 (東大・物性研)
 山田 鏑二 (信州大・理・物理)
 平田 文男 (分子科学研)
 大野 義章 (名大・理・物理)
 池田 研介 (立命館大・理工・物理)
 宮下 精二 (阪大・理・宇宙地球)
 松井 淳 (九大・理・物理)
 好村 滋行 (九工大・情報工)

E-mail: busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

URL: <http://www2.yukawa.kyoto-u.ac.jp/~busseied/>

物 性 研 究 第71巻第5号 (平成11年2月号) 1999年2月20日発行

発行人	村 瀬 雅 俊	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒606-8225	京都市百万遍交差点上ル東側 TEL (075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606-8502	京都市左京区北白川追分町 京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

年額 19,200円

会員規定

個人会員

1. 会 費：

当会の会費は前納制になっています。したがって、3月末までに次年度分の会費をお支払い下さい。

年会費	1st Volume (4月号～9月号)	4,800円
	2nd Volume (10月号～3月号)	4,800円
		計 9,600円

お支払いは、郵便振替でお願いします。当会専用の振替用紙がありますので、下記までご請求下さい。郵便局の用紙でも結構です。通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。

郵便振替口座 京都 01010-6-5312

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めに「退会届」を送付して下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

3. 送本先変更の場合：

住所、勤務先の変更などにより、送本先が変わる場合は、必ず送本先変更届を送付して下さい。

4. 会費滞納の場合：

正当な理由なく 2 Volumes 以上の会費を滞納された場合は、送本を停止することがありますので、ご留意下さい。

機関会員

1. 会 費：

学校、研究所等の入会、及び個人でも公費払いのときは機関会員とみなし、**年会費 19,200円** (1 Volume 9,600円) です。学校、研究所の会費の支払いは、後払いでも結構です。申し込み時に、支払いに書類（請求、見積、納品書）が各何通必要かをお知らせ下さい。当会の請求書類で支払いができない場合は、貴校、貴研究所の請求書類をご送付下さい。

2. 送本中止の場合：

送本の中止は Volume の切れ目しかできません。次の Volume より送本中止を希望される場合、できるだけ早めにご連絡下さい。中止の連絡のない限り、送本は継続されますのでご注意下さい。

雑誌未着の場合：発行日より 6 ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物 性 研 究 刊 行 会

〒606-8502 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

電話 (075)722-3540, 753-7051

FAX (075)722-6339

E-mail busseied@yukawa.kyoto-u.ac.jp

物 性 研 究 71-5 (2月号) 目 次

○研究会報告

「第5回『非平衡系の統計物理』シンポジウム」..... 711

○編集部より

1999年度「物性研究」会費納入について..... 921

○編集後記..... 922

物 性 研 究 71-5 (2月号) 目 次

○研究会報告

「第5回『非平衡系の統計物理』シンポジウム」..... 711

○編集部より

1999年度「物性研究」会費納入について..... 921

○編集後記..... 922